

会計人の教養

8

2018 AUGUST



学校法人高橋学園

専門学校

東京CPA会計学院熊本校

朝礼実習の進め方

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">進行</div> </div>	<p>進行役：① 一歩前へ出る</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 15度の黙礼</p> <p>④ 「開始5秒前です。姿勢を正してください。」</p> <p>④ 元の位置に素早く戻る</p> <p style="text-align: center;">＝5秒後＝</p> <p>⑤ 15度の黙礼</p> <p>⑥ 「東京CPA会計学院、〇〇△△（フルネーム）、進行いたします。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「〇月〇日〇曜日、ただいまより朝礼を始めます。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「朝の挨拶、〇〇社長！」</p> <p>⑦ 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">進行</div> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">社長</div> </div>	<p>社長役：① 素早く一歩前（輪の中央）に出る。</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 「みなさん！」</p> <p>全 員： 「おはようございます（30度の礼）」</p> <p>社長役：④ 「今日のスピーチ」</p> <p>全 員：⑤ 15度の黙礼</p> <p>社長役： 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">進行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">教養長</div> </div>	<p>進行役：① 一歩前へ出る</p> <p>② 「挨拶実習、リーダー〇〇さん！」</p> <p>挨拶長：① 「はい！」</p> <p>② 「挨拶実習を始めます。お願いします！（30度の礼）」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>挨拶長：① 「おはようございます！」</p> <p style="padding-left: 20px;">② 「おねがいします！」</p> <p style="padding-left: 20px;">③ 「ありがとうございました」</p> <p style="padding-left: 20px;">④ 「失礼します」</p> <p style="padding-left: 20px;">⑤ 「以上で挨拶実習を終わります！」</p> <p style="padding-left: 40px;">ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>全 員：「ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>挨拶長：元の位置に素早く戻る</p>

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進 行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶 長</div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教 養 長</div> </div> </div>	<p>進行役：①一歩前へ出る</p> <p style="padding-left: 20px;">②「会計人の教養輪読、リーダー〇〇さん！」</p> <p>教養長：①「はい！」</p> <p>進行役：元の位置に素早く戻る</p> <p>教養長：「お願いします！」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>教養長：① 全員の体制が整ったのを確認</p> <p style="padding-left: 20px;">②「〇ページをお開き下さい」</p> <p style="padding-left: 20px;">③「〇月〇日〇曜日、『テーマ』、『本文』」</p> <p style="padding-left: 40px;">★段落ごとに教養長が「はい！」と区切る</p> <p style="padding-left: 40px;">★順番に「はい！本文(途中段落)…」と続けて本文を読む</p> <p style="padding-left: 40px;">★最後に教養長が「はい！ありがとうございました。本文(最終段落)…」</p> <p style="padding-left: 20px;">④ 全員が落ち着いたことを確認</p> <p style="padding-left: 20px;">⑤「今日の心がけを斉唱いたしましょう」</p> <p style="padding-left: 40px;">「今日の心がけ！」</p> <p>全 員：「〇〇〇をしましょう！」</p> <p>教養長：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>教養長：元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進 行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教 養 長</div> </div> </div>	<p>進行役：①一歩前へ出る</p> <p style="padding-left: 20px;">②「以上で朝礼を終わります。」</p> <p style="padding-left: 40px;">「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>進行役：「解散します！解散！」</p> <p>全 員：「はい！」</p>

31 30 29 28 27 25 24 23 22 21

金 木 水 火 月 土 金 木 水 火

英語教育
バター不足
CSV
久石譲
チャレンジ精神
健康寿命
ワーキングプア
スマートシティ
一著者として
シルバーウィーク

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

圧倒的努力

学校掲示「今日の言葉」より

※「今日の言葉」とは、名言・格言を自由に書くコーナーです。

2018 AUGUST

平成30年 葉月 [はづき]

第4巻8号 (通算38号)

今月の目標

※ここに、今月の目標を記入しましょう。

熊本駅に足を運ぶと、たくさんの方を見かけます。私には会話が聞こえてきても何を話しているか理解できません。そんな中、電車の乗り方が分からなかったのでしょう。とてもおどおどしている外国人が目に残りました。駅員さんも休日だったこともあり、他の観光客の対応に追われていました。

声をかけたい気持ちはありましたが、英語が苦手な私は勇気が出ず、声を掛けることができませんでした。

みなさんも同じような経験はありませんか。現在、必修科目として小学校から英語の授業が行われています。確かに幼いころから英語に触れる機会が増えることは良いことだと思います。しかし、一方で、日本の英語教育は話せる英語ではなく、受験に受かるための英語になっているような気がしてなりません。

二〇二〇年には東京オリンピックも開催されるため、これからさらに外国人観光客は増加すると見込まれています。

その時、英語ができることにより少しでも困っている人を助けられるようになりたいです。そのためにも話せる英語を習得したいものですね。

今日の心がけ◆他国の言語に興味を持ちましょう。

今年の夏は異常気象により、所によつては気温が四十度を超え、例年よりも猛暑となっています。脱水症や熱中症など健康にも被害を及ぼしています。

暑さが体調に影響するのは人間だけではなく、家畜にも影響します。例えば、牛は暑くなりすぎると体調を崩し、お乳を出す量が減つてしまいます。それによりバターなどの乳製品が作れなくなり、バター不足に陥ります。

過去にはバター不足のため、スーパーなどのお店において「お一人様一つまで」とはり紙を貼られたり、店頭からバターが消えてしまったこともあります。

このように、国内でバター不足に陥った場合、外国からの輸入に頼ります。もともと「世界貿易機関」との約束事で、日本は年間に生乳換算で十三万トン以上のバター、脱脂粉乳、ホエイ、バターオイルなどの特定の乳製品を輸入しています。

このようにバター不足になっても、海外からの輸入に頼っている現状があります。そのためにも、バターに限らず、食料自給率を上げることには知恵を絞る必要があると思います。

今日の心がけ◆食糧問題に関心を持ちましょう。

みなさんは、CSVをご存知でしょうか。CSV（共有価値の創造）とは、アメリカの経済学者マイケル・ポーターが提唱した経営戦略で、企業による経済的価値と社会的価値をともに創造させることを意味します。

例えば、伊藤園は、茶葉農家と伊藤園が契約し、伊藤園のための茶葉を生産してもらう代わりに全ての茶葉を購入しています。

伊藤園は茶葉の仕入れが安定し、同様に農家の収入も安定するため双方にとってプラスになっています。また、飲料メーカーのKIRINは、東日本大震災の復興支援のため、二〇一三年、二〇一五年に福島産の桃と梨を使用した氷結を発売しています。

このように、CSVとは、企業が利益を出しながら社会に貢献していくという考え方です。私たちの生活においても、目先の利益だけを求めているはうまくいかないことがあります。そのような時こそ自分のことだけではなく、周りに目を配ることがとても大切なことだと思います。

今日の心がけ◆周りに目を配りましょう。

みなさんは、久石譲氏をご存知でしょうか。

久石氏は、日本の有名な作曲家の一人です。「風の谷のナウシカ」「もののけ姫」「千と千尋の神隠し」「ハウルの城」などスタジオジブリの作曲を行っています。また、その他にもたくさんの映画作品、テレビやCMのテーマ曲も手掛けています。

国内では、日本アカデミー賞を受賞し、海外でもアニメ賞や国際映画音楽批評家協会賞などを受賞されています。このように、久石氏は、日本だけでなく今や、世界でも活躍されています。

久石氏を知らなくても、彼の曲を聞いたことがある人は多いのではないのでしょうか。それだけ、音楽の力は素晴らしいものです。音楽は、私たちの生活に大きな影響を与えているのです。

私たちの学んでいる簿記も、様々な人たちがすべての企業に影響を与えています。私たちは簿記を通して、日本だけでなく、世界に貢献できるような人財になりましょう。

今日の心がけ◆世界に貢献できる人財になりましょう。

いざ何かを始めようとしたとき、多くの人は「でも」「万が一」など様々なリスクを考えます。子供の頃は、好奇心や勢いで始めることができたにも関わらず、大人になるとリスクを考えてしまい、何かを始めるのが怖くなってしまいます。

それは、どうしても成功するかどうかわからない・失敗してしまうかもしれない、そのよ
うな気持ちがあるからではないでしょうか。

しかし、成功というのはあくまで結果論であり、実際はそこにたどり着くまでの過程が大
切なことだと思えます。そして、その過程を楽しむことが成功への近道と感ずます。

失敗を恐れずにチャレンジした人は、チャレンジした数の分、失敗を経験していると思いま
す。失敗することが悪いのではなく、失敗を恐れて行動しない、失敗したからできないと考
えることが良くないと考えます。

誰もができれば失敗したくありません。しかし、チャレンジすることで成功に近づき、自
信を持つことができると確信しています。まずは、初めの一步として今まで挑戦しなかつた
ことにチャレンジしてみませんか。

今日の心がけ◆チャレンジを続けましょう。

近年、医療技術の発展などにより日本の平均寿命は上昇し続けています。二〇一七年の日本人の平均寿命は、男性が八十一・〇九歳、女性が八十七・二六歳といずれも過去最長を記録しました。

そのため、現在は六百万人以上の高齢者が介護を必要とする要介護者となっており、医療費の増加や介護業界の人材不足など、多くの社会問題を抱えています。

そのような中、健康寿命という言葉が注目されています。健康寿命とは平均寿命とは異なり、日常的・継続的な医療・介護に依存せず、自立した生活ができる期間を指します。

健康寿命を伸ばすことで、医療費や介護費の削減につながり、本人や家族、社会への負担を減らすことができます。また、高齢者でも仕事や趣味などが不自由なく行えることで、老後の生活の質の向上にも繋がります。

健康寿命を延ばす方法は、適度な運動や食生活の改善などがあげられます。みなさんも、自分の老後のために今から健康に気を使ってみてはいかがでしょうか。

今日の心がけ◆健康寿命を延ばしましょう。

ワーキングプアとは、正社員としてもしくは正社員並みに働いても、生活維持が困難、もしくは生活保護水準以下の収入しか得られない低所得者のことをいいます。もともとはアメリカで生まれた言葉であり、「働く貧困層」と訳されます。

一般的には年収二百万以下で、月給が十五万円程度の世帯を指すようです。収入が少ないため、家賃・食事・光熱費などを支払ったら手元に残るお金はほとんどありません。そのため、休日どこかに遊びに行ったり、趣味に使うことも難しくなります。

このようなワーキングプアは、十年間増え続けています。特に最近の四年間では、千百万人を超えています。この人数は今後も大きな変化が見られないと予想されています。

このような中で、私たち学生に求められることは、ビジネススキルを身に付けるということです。特に、専門的な仕事であれば、その道の人しか仕事ができないため、必要不可欠な人材として働くことができると考えます。

私たちのスキルは会計です。会計の専門家としてのスキルを磨き、社会に貢献することで幸せな人生を送ることができるのではないのでしょうか。

今日の心がけ◆働くスキルを身につけましょう。

スマートシティとは、ITや環境技術などの先端技術を使い、街全体の電力の有効利用を図ることで、省資源化を徹底した環境に配慮した都市のことをいいます。

例えば、家が自分で考え電気量をコントロールし自家発電すれば、効率的に節電ができ、余った電力を隣の家に提供することもできます。自動運転の車が広まれば、今まで渋滞でもどかしい思いをしていた車中の時間を活用し、本を読んだり仕事を進めたりすることができそうです。

家や車などの生活インフラと、電気・ガス・水道などの基礎インフラという都市全体がインターネットで繋がることで、効率的な都市の管理ができ行政サービスの向上も見込まれます。そして、この流れは多くのビジネスチャンスが生まれるため、経済も発展していくと考えられています。

このような仕組み作りをすることで、エネルギー問題やインターネットで繋がるだけではなく、環境に配慮した暮らしの質の向上も期待できます。

現在は世界規模での実現が検討され、日本でも、横浜市や北九州市など様々な地域で研究が行われています。しかし、スマートシティの実現には、まだまだ課題がたくさんあります。国や自治体と、地域住民が一体となって取り組みを進め、理解を深めることが大切だと思います。

今日の心がけ◆スマートシティに関心を持ちましょう。

みなさんは、著作物にはどのような種類があるかご存知でしょうか。

著作権法によると、著作物とは、「思想または感情を創作的に表現したものであつて、文芸、学術、美術または音楽の範囲に属するもの」であるとされています。わかりやすくいえば、「自分の考えや気持ちを他人の作品のまねでなく自分で工夫して、言葉や文字、形や色、音楽（作詞・作曲）というかたちで表現したもの」ということになります。

例えば、私たちが書いた作文、日本舞踊、バレエ、ダンスの振り付け、人や風景などを撮影した写真なども当てはまります。それは、一人ひとりの考えや思想がとても価値あるものだと考えられているからです。

著作者は、著作権制度によつて著作物の利用者から使用料を得ることができます。一方、私たちは著作物を利用したり楽しむことによつて、豊かな生活を送ることができるのです。

私たちも、あつと驚くような作品を創作することで、著作者となり、世の中に貢献しましょう。

今日の心がけ◆著作者となりましょう。

九月の連休が最大五連休となった時に、その連休はシルバーウィークと称されます。また、このように希少性が高いことから、プラチナウィークとも呼ばれています。

残念ながら、今年の九月の連休は三日です。そして、次のシルバーウィークは二〇二六年になるようです。

このシルバーウィークは、「ハッピーマンデー制度」の導入によるものです。

「ハッピーマンデー制度」とは、国民の祝日の一部を従来の日付から特定の月曜日に移動させる制度で、連休の日数を増やすことにより観光業や運輸業などを活性化させる目的で設けられました。また、「国民の祝日に関する法律の一部を改正する法律」や「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律」などの法律により、ハッピーマンデー制度の該当日が増加しました。

仕事を頑張ることは大切ですが、休むことも大切なことです。仕事を休むことで、体と心のリフレッシュし、気持ちよく仕事に取り組みましょう。

今日の心がけ◆しっかりと休みを取りましょう。